

# 未来につなぐ 下水道事業プラン

町田市下水道事業経営戦略



2021年3月

町田市

## ごあいさつ

町田市では、住環境の改善と河川の水質向上を目的に、1964 年度から下水道事業に着手し、汚水管や 2 カ所の下水処理場などの整備を進めてまいりました。2013 年度には市街化区域の汚水管整備が概ね完了いたしました。そして、2026 年度末までには、水洗化率 100% を目指しています。また、下水道事業経営の健全化を図るため、2020 年 4 月から地方公営企業法の財務規定を適用し、「公営企業会計」を導入いたしました。



私たちを取り巻く社会環境は、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行を始め、人口の減少・少子高齢化の進行・大規模災害の頻発など、大きく変化しています。また、市民のライフスタイルや価値観の変化によって、下水道事業に対するニーズも多様化しています。

町田市においても、下水管や下水処理場などの老朽化、人口減少や節水意識の高まりなどに起因する下水道使用料収入の鈍化、地方公営企業の原則である「独立採算」の確立・維持などの課題を抱えております。そのため、今までの計画どおりに事業を進めるだけではなく、効率的で健全な下水道事業経営が求められています。

このたび、地方公営企業として「持続的かつ安定的な下水道事業経営」の実現を目指す「未来につなぐ下水道事業プラン」（町田市下水道事業経営戦略）を策定いたしました。

このプランは、現状の課題や将来推計を踏まえながら、収支のバランスを図り事業計画の進捗管理や見直しを行っていくための中長期的な実行計画であり、また、2011 年度に策定した「町田市下水道ビジョン」の実行計画である「町田市下水道アクションプラン」に代わるものとして、その事業を継承しつつ、より一層の「経営基盤の強化と財政マネジメントの向上」を図っていくものです。

町田市下水道事業は、経営状況や事業計画を「見える化」し、計画的に「経営基盤の強化と財政マネジメントの向上」を実現していくことにより、未来につながっていく市民生活に不可欠なインフラ事業として、安定した経営を目指してまいります。今後とも、市民の皆様と事業者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、多大なるご指導並びにご助力を賜りました「町田市下水道事業審議会」の委員各位に、厚く御礼申し上げます。

2021 年 3 月

町田市長

A handwritten signature in blue ink, reading '石井丈一' (Toshiyuki Ishii), positioned next to the typed name '町田市長'.

# 目次

第1章 経営戦略の趣旨 .....	1
1. 経営戦略の目的 .....	1
2. 経営戦略の内容 .....	3
3. 計画の期間 .....	4
第2章 下水道事業の現状と課題 .....	5
1. 日本の下水道事業を取り巻く社会情勢の変化 .....	5
(1) 下水道事業の現状 .....	5
(2) 人口減少 .....	5
(3) 大規模地震 .....	6
(4) 気候変動・風水害 .....	6
(5) 健全な水環境の創出 .....	6
2. 町田市の下水道事業 .....	7
(1) 下水道事業の概要 .....	7
(2) 行政人口の推移 .....	11
(3) 管渠の整備状況 .....	13
(4) 人口普及率と接続率 .....	15
(5) 有収水量と有収率 .....	17
(6) 経営の状況 .....	19
(7) 老朽化の状況 .....	25
3. 類似団体などとの比較分析 .....	27
(1) 使用料単価 .....	28
(2) 汚水処理原価 .....	29
(3) 経費回収率 .....	31
(4) 1人あたりの企業債残高 .....	32
(5) 管渠老朽化率 .....	32
第3章 下水道事業を取り巻く将来推計 .....	33
1. 人口普及率の推計 .....	33
2. 処理区域内人口の推計 .....	33
3. 有収水量の推計 .....	34
4. 下水道使用料収入の推計 .....	35
第4章 経営の基本方針 .....	37

<b>第5章 効率化・経営健全化の取組み</b>	39
1. 経営基盤の強化	39
(1) 組織の活性化のための人材育成	39
(2) 資金管理・調達に関する取組み	40
(3) 資産の有効活用	40
(4) 共同化の検討	41
(5) その他経営基盤強化の取組み	43
2. 将来を見据えた効率的・効果的な投資	46
(1) 計画的な改築更新	46
(2) 民間の技術力、経験などの活用	49
(3) 未利用エネルギー・資源の有効活用	49
(4) 新技術の活用	50
3. 危機管理体制の強化	51
(1) 大規模災害に備えた取組み	51
(2) 危機管理などの体制強化	53
4. 公共用水域の水質保全	55
(1) 下水処理場の運転管理	55
(2) 事業場（工場や飲食店など）の指導	56
<b>第6章 今後10カ年の事業計画</b>	57
1. 環境に配慮した施設整備・より良い環境づくりの推進	59
(1) 住環境の改善	59
(2) 河川の水質向上への貢献	62
(3) 地球温暖化対策と資源の循環利用	65
2. 災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築	67
(1) 浸水対策の推進	67
(2) 地震対策の推進	70
3. 経営の効率化及び健全化・より良い下水道サービスの導入	78
(1) 効率的・効果的な維持管理の推進	78
(2) 計画的な改築更新	82
4. 10カ年の事業費見通し	87
<b>第7章 財源計画</b>	89
1. 財源試算	89
(1) 下水道使用料	89
(2) 国庫補助金・都補助金	89
(3) 企業債	90
(4) 一般会計繰入金	91

(5) その他の主な下水道事業財源 .....	91
2. 10カ年の財源見通し .....	92
 第8章 投資財政計画 .....	93
1. 投資財政計画のための収支設定 .....	93
2. 資金過不足額の分析 .....	94
(1) 収益的収支 .....	94
(2) 資本的収支 .....	97
(3) 資金過不足額の分析 .....	100
3. 下水道使用料の見直し .....	104
4. 投資財政計画（10カ年の収支見通し） .....	105
 第9章 経営戦略の進捗管理 .....	107
1. 進捗管理の概要 .....	107
2. 進捗管理において活用する「重要業績評価指標」 .....	107
 【資料編】 .....	110
1. 用語集 .....	110
2. 資本費平準化債発行後の財務状況 .....	121
3. マンホールトイレ整備箇所図 .....	124
4. 策定経緯 .....	125
5. 委員の構成 .....	126

※本文及び図・表中に \* のマークが付いている用語については、その用語の内容説明を P.110 以降の「用語集」に五十音順で記載しています。